

# 十二支ジャンケン

—おもろいか、おもろないかは、やってみないとわからない—

## どんなゲームか

先生とグループの代表でジャンケンをします。勝てば十二支の絵カードを入っている封筒から引くことができます。これをくり返し、十二支の絵カードを全部そろえたグループが勝ちになるというゲームです。

## 準備するもの

十二支の絵カードを20枚印刷して、干支ごとに切ります。A B 2つの大きめの封筒を用意し、それぞれに各干支カードを10枚ずつ入れます。ただし、一つの干支だけは数枚ずつ入れるだけにします。(これは、カードがすぐにそろわないようにするためです)。これで、Aの封筒に百十数枚、Bの封筒にも百十数枚、同じ割合で十二支カードが入ります。それぞれの封筒の中をよくシャッフルします。

## 遊び方

①「これから先生とグループの代表者(順次交代)でジャンケンをします。勝ったらこの封筒の中の十二支カードを一枚引くことができます。これをくり返し、早く十二支をそろえたグループが勝ちです。」

②勝ったチームは、封筒から干支カードを一枚引く。A(1~3)、B(4~6)

③1回戦から、どんどんジャンケンを行う。

④途中に、特別ルールがある

- ・「ボーナスチャンス」…勝つと2枚のカードが引けます。
- ・「交換タイム」…他のグループと交渉してカードを交換してもらえます。
- ・「特別チャンス」…あいこでも、カードを引けます。
- ・「負けるが勝ち」…負けた人がカードを引けます。勝っては引けません。
- ・「持って行けチャンス」…負けても引けます。

⑤早くそろったグループが勝ちとなります。

ひゅらにひ  
十二支じゃんけんカード

